

研究所彙報

一 二〇一四年度研究所・所員リスト

教授 浅野 富美枝 (家族社会学・ジェンダー論)

准教授 市野澤 潤 平 (文化人類学)

教授 今林 直樹 (社会学・政治学)

教授 井上 研一郎 (近世美術史)

教授 菊池 勇夫 (日本近世史)

准教授 木村 春美 (第二言語習得・英語教育)

教授 九里 順子 (日本近代文学)

教授 松浦 光 和 (心理学)

教授 森 雅彦 (西洋美術史)

教授 J. F. モリス (日本文化論)

教授 大平 聡 (日本古代史)

教授 新免 貢 (宗教学)

准教授 杉井 信 (社会人類学)

- 教授 高田 紀代志 (科学史・科学論)
- 教授 田中 一裕 (生態学)
- 教授 土屋 純 (地理学)
- 教授 豊澤 弘伸 (国語教育)
- 教授 八木 祐子 (文化人類学)
- 教授 吉村 典子 (西洋建築デザイン史)
- 客員 阿部 隆 (日本女子大学教授・人文地理学)
- 客員 一条 孝子 (宮城学院女子大学非常勤講師・キャリアアカウンセリング論)
- 客員 今高 義也 (宮城学院中学校・高等学校教諭・日本思想史)
- 客員 岩川 亮 (元宮城学院女子大学准教授・フランス語学・文学)
- 客員 遠藤 みどり (日本学術振興会特別研究員・日本古代史)
- 客員 犬飼 公之 (宮城学院女子大学名誉教授・古代文学)
- 客員 大石 泰夫 (盛岡大学教授・日本古代文学)
- 客員 大迫 章史 (仙台白百合女子大学准教授・近代日本高等教育史・近代日本教育制度史・教育行政学)
- 客員 木曾 恵子 (東北学院大学および宮城学院女子大学非常勤講師・文化人類学・タイ地域研究・ジエンドー研究)

| | | |
|------------------|-------|--------------------------------|
| 客 研 究 員 | 後藤純子 | (元大阪市立大学文学部助教・インド学・宗教学) |
| 客 研 究 員 | 後藤久太郎 | (宮城学院女子大学名誉教授・建築史) |
| 客 研 究 員 | 佐々木民夫 | (岩手県立大学教授・日本文学) |
| 客 研 究 員 | 澤田美和 | (仙台市経済局国際プロモーション課・フランス行政論) |
| 客 研 究 員 | 妹尾哲志 | (専修大学法学部准教授・政治史) |
| 客 研 究 員 | 高橋泉 | (仙台白百合大学教授・文化人類学) |
| 客 研 究 員 | 富永智津子 | (元宮城学院女子大学教授・東アフリカ・インド洋地域近現代史) |
| 客 研 究 員 | 中村忠生 | (兵庫県立西宮香風高等学校教諭・教育心理学) |
| 客 研 究 員 | 丸山仁 | (宮城学院中学校・高等学校教諭・日本中世史) |
| 客 研 究 員 | 豊山亜希 | (国立民族学博物館外来研究員・東アジア美術史) |
| 客 研 究 員 | 割田聖史 | (青山学院大学准教授・西洋史) |

二 共同研究について

本年度の共同研究のテーマは次の通りである。

「南島における民族と宗教」

「多民族社会における宗教と文化」

「キリスト教文化の受容と変容」

「家族文化の総合的研究」

共同研究の成果として、次の冊子が刊行された。

『沖繩研究ノート』24

『多民族社会における宗教と文化』No.18

三 二〇一四年度研究所活動報告

公開講演会

二〇一五年一月一九日(月)午後五時一〇分より午後六時三〇分(≪本学第二講義館三階K三〇一第二視聴覚教室≫)

「沈む太陽と死者の世界―インド最古の讃歌集『リグヴェエーダ』より―」

講師 後藤 敏文(東北大学名誉教授、国際仏教学大学院大学教授)

公開シンポジウム

二〇一五年三月七日(土)午後一時より五時(≪本学第二講義館三階K三〇一第二視聴覚教室≫)

「古代史シンポジウム…「井上廃后事件」からみる光仁朝―「奈良」の終焉・「平安」の胚胎―」

基調講演(≪井上廃后事件≫と光仁朝)

講師 榎村 寛之(三重県立斎宮歴史博物館学芸普及課長)

公開公演

二〇一四年十一月二三日（木）午後五時一〇分より七時（≪本学音楽館ハンセン記念ホール≫）

「レクチャー公演…琉球舞踊の世界―「祈る」身体の心と形―」

講師 波 照 間 永 子（明治大学准教授）

公演者 志 田 真 木（琉球舞踊重踊流二世宗家）

共催 本学音楽科

公開研究会

二〇一四年四月一九日（土）午後二時より午後五時（≪本学人文館五階A五四九大会議室≫）

「画所解を読み解く」

報告者 徳 竹 亜 紀 子（東北大学大学院文学研究科専門研究員）

二〇一四年六月一九日（木）午後五時より（≪本学人文館五階A五四九大会議室≫）

「合評会…大平聡著『聖徳太子―倭国の「大国」化をになった皇子』（日本史リブレット4 山川出版社）」

評者 遠 藤 み どり（本研究所客員研究員、日本学術振興会特別研究員）

および参加者からの読後感・質問等

二〇一四年二〇月九日（木）午後三時四〇分より午後六時三〇分（≪本学人文館五階A五四九大会議室≫）

「讓国儀の成立」

報告者 遠 藤 み どり（本研究所客員研究員、日本学術振興会特別研究員）

〈多民族社会における宗教と文化〉

公開シンポジウム

二〇一四年一〇月四日(土) 午前一一時三〇分より午後十二時四五分(本学講義館二階C二〇三教室)

「海外観光地を支える日本人—アジア諸国の観光業界で働く日本人の仕事と人生—」

「世界一のビーチで偶然働く—フィリピン・ボウカイ島の日本人観光産業従事者たち—」

報告者 東 賢 太 朗(名古屋大学准教授)

「日本と中国をつなぐ—中国広州市の日系旅行会社で働く—」

報告者 田 中 孝 枝(東京大学大学院博士課程)

「趣味の延長? 遊びを仕事に? —タイ・プーケット島のダイビング・ガイド—」

報告者 市 野 澤 潤 平(本学国際文化学科准教授)

共催 本学国際文化学科(開設二五周年記念)

公開研究会

二〇一四年七月一四日(月) 午後五時一〇分より午後六時三〇分(本学人文館五階A五四九大会議室)

「東北タイ農村における女性血縁ネットワーク—労働とケアをめぐる—」

報告者 木 曾 恵 子(本学非常勤講師)

共催 日本文化人類学会東北地区研究懇談会

二〇一五年一月三一日(土) 午後二時より午後五時(本学人文館五階A五四九大会議室)

「東北タイの技芸をめぐる職業化―焼物職人、芸能者の実践から―」

「焼物職人の誕生―東北タイにおける焼物の産地形成から―」

報告者 中村 真里 絵（国立民族学博物館外来研究員、岡山理科大学他非常勤講師）

「マイクは鍬よりも強し―東北タイ農村社会のモータラム芸能にみる雇用創出―」

報告者 平田 晶子（神田外国語大学非常勤講師、東京外国語大学大学院博士後期）

四 所員消息（二〇一四年四月―二〇一五年三月）

浅野 富美枝 教授

論文「女性と日本国憲法」『アスバラ』六四号（ソノ企画、二〇一四年八月）所収

論文「大震災から戦後七〇年をふりかえる」『アスバラ』六五号（ソノ企画、二〇一五年一月）所収

講演「防災・復興と男女共同参画」イコールネット仙台主催 女性のための防災リーダー養成講座二〇一四年五月二七日

「東日本大震災後の男女共同参画」気仙沼市主催（二〇一四年七月二九日）

「防災・復興と男女共同参画」登米市・イコールネット仙台主催 女性防災リーダー養成講座二〇一四年九月一七日

「性同一性障害を抱える児童生徒に対する学校の対応のあり方とは」宮城県教育委員会主催 二〇一四年度性教育指導者研修会（二〇一五年一月一六日）

「防災・減災と男女共同参画」わたしたちが伝えたいこと」イコールネット仙台主催 国連防災世界会議
パブリックフォーラム・シンポジウムコーディネーター（二〇一五年三月一五日）

他

市野澤 潤 平 准教授

共編著『リスクの人類学…不確実な世界を生きる』（世界思想社、二〇一四年五月）

解説「観光立国としてのタイ／性産業」（綾部真雄（編）『タイを知るための七二章』、明石書店、二〇一四年七月）

解説「「宮城学院女子大学リエゾン・アクション・センター（MG-LAC）の役割と課題：災害復興ボランティア（被災児童支援）を中心に」（『私学経営』四七四号、公益社団法人私学経営研究会、二〇一四年八月）

シンポジウム「ダークツーリズムという問い」立命館大学衣笠キャンパス（二〇一四年十一月一六日）

学会報告「楽園のコンシエルジュ…ブーケットの日系ダイビング・ガイドの事例にみる「楽園」の裏側」日本文学人類学会第四八回研究大会・幕張メッセ（二〇一四年五月一八日）

調査「フィリピンの台風被災地におけるダイビング観光業にかかわる現地調査」（フィリピン、二〇一四年四月一一日～一八日）

調査「タイにおける政治動乱の国際インバウンド観光への影響にかんする現地調査」（タイ、二〇一四年八月八日～二五日）

調査「タイにおけるダイビング観光に関わる現地調査」（タイ、二〇一四年九月二日～一七日）

調査「タイにおける災害復興に関わる現地調査」(タイ、二〇一四年一〇月三十一日～十一月九日)

調査「タイにおけるダイビング観光に関わる現地調査」(タイ、二〇一四年十二月二日～二〇一五年一月二日)

今林 直樹 教授

研究ノート「筑後洋画ゆかりの地を訪ねて―青木繁と坂本繁二郎を中心に―」『宮城学院女子大学研究論文集』

一一九号(二〇一四年十二月)

研究ノート「八重山諸島の歴史と文化―石垣島と竹富島を中心に―」『沖縄研究ノート』二十三号(二〇一五年三月)

論文「坂本繁二郎のフランス体験―一九二〇年代における日仏文化交流史―」『人文社会科学論叢』第二十四号

(二〇一五年三月)

菊池 勇夫 教授

論文「飢饉と災害」(岩波講座『日本歴史』第12巻近世3、岩波書店、二〇一四年十二月)

論文「蝦夷地のなかの「日本」の神仏―ウス善光寺と義経物語を中心に―」(『日本史のフロンティア』1、法政

大学出版局、二〇一五年一月)

論文「天保飢饉と備荒貯蓄―秋田藩の場合―」(宮城学院キリスト教文化研究所、二〇一五年三月)

小論文「安政七年の野火証文―嶽山・御林・里山の野火禁止―」(『平成25年度骨寺村荘園遺跡村落調査研究概報』

一関市博物館、二〇一四年三月) *平成25年度骨寺村荘園遺跡村落調査研究報告会、二〇一三年三月八日、

一 関市生活改善センター（若井原）

講演要旨「地方・地域・郷土を意識して」（『地方史研究』第三七〇号、地方史研究協議会、二〇一四年八月 *

第五五回日本史関係卒業論文発表会特別講座、二〇一四年四月一九日、大正大学

小論文「クニコトバの生活世界」（『菅江真澄、旅のまなざし』、秋田県立博物館、二〇一四年九月）

小論文「義経の「粟の借用証文」（『日本歴史』第八〇〇号、吉川弘文館、二〇一五年一月）

科研費報告書『東北地方の天保の飢饉を中心とした非常態と飢饉の記憶に関する研究』（二〇一二年度～二〇一四年度、科学研究助成事業〈学術研究助成基金助成金〉基盤研究（C）、二〇一五年三月）

小論文「近世東北の飢饉」（『歴史地理教育』二〇一五年三月増刊号八三二号、歴史教育者協議会、二〇一五年三月）

講義「広瀬川上流域の近世災害史―村民たちは自然とどう向き合ったか―」（第29回仙台市史講座、主催：仙台市博物館、会場：大沢市民センター、二〇一四年七月一二日）

講義「天保の秋田藩飢饉と備荒対策」（あきたふるさと講座、主催：秋田県生涯学習推進本部・秋田県教育委員会、会場：秋田県生涯学習センター、二〇一四年九月二七日）

講義「天譴・天罰論をめぐる」（主催：安藤昌益と千住宿の関係を調べる会、会場：東京芸術センター第一会議室、二〇一四年一月二八日）

報告「南部藩・仙台藩における名子制（解体・存続）と刈分小作―凶作・飢饉への対応を意識して」（総合地球環境研究所・気候適応史プロジェクト、高分解能古気候学と歴史・考古学の連携による気候変動に強い社会

システムの探索、東北大学東京分室会議室A（二〇一四年一月二六日）

木村 春美 宮城学院女子大学 准教授

論文 Kimura, H. (2014), Establishing group autonomy through self-access center learning experiences, *Studies in Self-Access Learning Journal*, 5 (2), 82-97.

書評 Jacobs, G. M., & Harumi, K. (2014). Critical ELT in action: Foundations, promises, praxis. *Language Education in Asia*, 5 (1), 170-177.

報告 Hayashi, B., Kimura, H., Kumagai, H., Morris, J. F., & Tashima, Y. (2014). The bridge for tomorrow:

Miyagi Gakuin and the KAKEHASHI Project. *Bulletin of Miyagi Gakuin Women's University*, 118, 69-89.

九里 順子 教授

論文「北園克衛の句観——『風流陣』を中心に——」（『日本文学ノート』四九号 二〇一四年七月）

論文「暮鳥の〈青空〉——風景の中の詩人——」（『人文社会科学論叢』二四号 二〇一五年三月）

論文「北園克衛の句作——犀星評価を視座として——」（『研究年報』四八号 二〇一五年三月）

俳句「青葉風」（『河北新報』二〇一四年五月一八日）

俳句「太陽の扉」（『里』一三九号 二〇一四年一〇月）

俳句「心なき窗」（ウェブ俳句マガジン『週刊俳句』三七四号 二〇一四年一月九日）

随筆「見せること、隠すこと。」（『鬚』五三号 二〇一四年一月）

随筆「一九七二年のさびしさ」（『鬚』五四号 二〇一五年二月）

随筆「狛犬の道」〔『路上』一三一号 二〇一五年三月〕

生涯学習講座「歌人・与謝野晶子——『みだれ髪』を中心に——」〔二〇一四年六月二日〕

大平 聡 教授

著書『聖徳太子』 山川出版社 二〇一四年四月二五日

論文「地域史資料としての学校資料」『災害・復興と資料』三 二〇一四年三月一五日 新潟大学災害・復興

科学研究所危機管理・災害復興分野 三五～四七頁

講演録「文書保存のあり方——学校文書の諸問題」『シンポジウム録 東日本大震災の検証と来るべき震災の備え

への提言』二〇一四年三月二七日 いわて高等教育コンソーシアム 大学等における地域復興のためのセン

ターの機能整備事業シンポジウム 七〇～七四頁

講演等「吉野盟約の意味 持統篡奪王権への疑問——」二〇一四年三月一日 公開研究会「論争 持統“篡奪”王

権論」主催者宮城学院女子大学キリスト教文化研究所 会場 宮城学院女子大学

「厩戸皇子立太子の構想—聖徳太子の実像を求めて—」二〇一四年七月五日 公開講座【続・古典を読む

—歴史と文学—】「いま明かされる古代34」 主催者日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究（S））

「日本目錄学の基盤確立と古典学研究支援ツールの拡充」研究プロジェクト 会場 長野県立長野高等学校

金鶏会館（国登録有形文化財）宝形塔屋講義室

「鎮守府胆沢城から鳥海柵へ——在庁官人安倍氏の誕生——」二〇一五年二月一四日 国指定史跡鳥海柵跡シン

ポジウム 金ヶ崎町教育委員会 金ヶ崎町中央生涯教育センター

「学校資料は地域の宝」二〇一五年二月二五日 天草市立天草アーカイブズ講演会 会場 天草市文化交流

館

調査等

登米市（登米市教育委員会登米市歴史博物館との共同事業・継続）

四月二日 登米市内未調査小・中学校訪問、調査打合

四月二日 登米市立宝江小学校資料調査

四月二日 登米市立錦織小学校資料調査・保全作業第一回

五月 二日 登米市立錦織小学校資料調査・保全作業第二回

五月 九日 登米市立錦織小学校資料調査・保全作業第三回

八月一九日 登米市立横山小学校第二次資料調査第一回

八月二〇日 登米市立米谷小学校第二次資料調査

八月二五日 登米市立横山小学校第二次資料調査第二回

気仙沼市（気仙沼教育委員会との共同事業・第二次）

五月一六日 気仙沼市立大谷小学校資料調査・保全作業

五月二三日 気仙沼市立小原木小学校資料調査

六月一七日 気仙沼市立小泉小学校資料調査・保全作業第一回

六月二〇日 気仙沼市立大谷小学校資料調査・保全作業第二回

- 六月二四日 気仙沼市立唐桑小学校資料調査・保全作業
- 六月二七日 気仙沼市立水梨小学校資料調査・保全作業
- 七月 八日 気仙沼市立小泉小学校資料調査・保全作業第二回
- 七月二一日 気仙沼市立鹿折小学校・浦島小学校資料調査・保全作業第一回
- 七月二五日 気仙沼市立鹿折小学校・浦島小学校資料調査・保全作業第二回
- 七月一八日 気仙沼市立白山小学校資料調査第一回
- 八月 八日 気仙沼市立月立小学校資料調査第一回
- 八月二二日 気仙沼市立月立小学校資料調査第二回
- 九月一〇日 気仙沼市立中井小学校資料調査
- 九月一一日 気仙沼市立新城小学校資料調査第一回
- 一一月二一日 気仙沼市立新城小学校資料調査・保全作業第二回
- 一一月二八日 気仙沼市立白山小学校資料調査第二回
- 一二月 五日 気仙沼市立新城小学校資料調査第三回
- 一二月一二日 気仙沼市立大島小学校日誌調査
- 七ヶ宿町（七ヶ宿町教育委員会との共同事業・継続）
- 五月二〇日 七ヶ宿町立七ヶ宿小学校調査第一回
- 五月三〇日 七ヶ宿町立七ヶ宿小学校調査第二回

六月 六日 七ヶ宿町立七ヶ宿中学校調査・資料保全作業第一回

六月 一三日 七ヶ宿町立七ヶ宿中学校調査・資料保全作業第二回

涌谷町（涌谷町教育委員会との共同事業・第二次）

六月 一〇日 旧涌谷町立第三小学校資料調査

川崎町（川崎町教育委員会との共同事業・第二次）

一二月 一九日 川崎町立旧支倉小学校資料調査・保全作業第一回

多賀城市（多賀城市教育委員会からの委託事業・継続）

多賀城市立山王小学校・多賀城小学校の日誌調査

展覧会 宮城学院女子大学学芸員課程・人間文化学科共催「学校日誌に見る昭和の記録・戦争の記憶」展の立案・

実施指導 一〇月～一〇月 宮城学院女子大学実習・資料室（C六〇九教室）

社会的活動

岩手県金ヶ崎町鳥海柵発掘調査指導委員会副委員長 二〇一三年七月～

多賀城市文化財保護委員 二〇一三年一月～

東北歴史博物館協議会委員 二〇一三年九月一日～二〇一四年一月三十一日

新 免 頁（本学一般教育科教授）

論文「『ディダケー』一章三節～二章一節をめぐる諸問題」（本学『キリスト教文化研究所研究年報四七号』二〇一五年三月一日、一―五十一頁）

エッセイ「人が人として人を助ける」『日本キリスト教社会福祉学研究会（第四十七号）』（日本キリスト教社会福祉学会、二〇一五年、六八―七二頁）

「悩めるあなたに送る人間回復論」『信徒の友』（十一月号、日本キリスト教団出版局、二〇一四年、十二―十五頁）

“Encouraging Troubled Youth to Recover their Humanity,” in *Kyodan News Letter No. 381* (February, 2015), The United Church of Christ in Japan, p. 4.

研究発表『「ディダケー」一章三節―二章一節をめぐる諸問題』（日本基督教会東北支部学術大会、宮城学院女子大学、二〇一四年六月―四日）

「A・J・ヘシエルにおける宗教間対話の構想」（日本宗教学会第七十三回学術大会、同志社大学、二〇一四年九月十四日）

講演 大学チャプレン会基調講演「新約聖書外典における女性キリスト者――マグダラのマリアを中心に――」（東洋英和女学院大学、二〇一四年七月十八日）

ラテン・アメリカキリスト教ネットワーク主催聖書研修会基調講演「そして下から順番が変わる――この世界的な価値基準の見直しを迫る福音――」 「プリスキラとアクラ」 「ガラテヤ三章二十八節を読む」 「二つの震災体験に関連して」（明治学院大学、二〇一四年九月一五―十六日）

北日本「核と基地」問題ネットワーク研修会主題講演「私の宣教論序説――どこに向かうのか？ 何を聴くのか？ 何を語るのか？」（日本キリスト教団東北教区センター・エマオ、二〇一四年十月六日）

「兵庫南部大地震から二十年」セミナー講演「倫理非常事態宣言」（日本基督教団西宮公会、二〇一五年一月十六日）

実地調査・ヒアリング

石巻復興状況に関する実地調査と被災者聞き取り調査（石巻立町復興ふれあい商店街、二〇一四年六月一二―二三日）

あすと長町仮設住宅における現況調査（二〇一四年六月一七日、二〇一五年一月十一日）

多賀城・松島の戦跡地調査、女川原発現地調査（二〇一四年十月七日）

原発事故に伴う放射能汚染問題に関する資料収集（日本キリスト教団東北教区センター・エマオ、二〇一四年十月八日）

原発事故被災者たちの抗議行動に関する現況調査（「もう我慢はしない！立ち上がる 原発事故被害者集会」、福島市公会堂、二〇一四年十一月十六日）

兵庫南部大地震後の阪神間諸地域の復興状況に関する聞き取り調査（兵庫県立芸術文化センター前、神戸市役所前、神戸市東遊園地公園、二〇一五年一月十七日）

法と心理学による実務家研修「大学カルト対策——レジリアンスとメンタルヘルス」（文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究「法と人間科学」主催）におけるカルト団体関係資料収集（一般財団法人主婦会館ブラザエフ、二〇一五年一月二四日）

日本脱カルト協会第二八回大会（春季）『無知脆弱性不法利用罪』が意味するもの（脱会者の体験・子供の

体験と法律家の観点から」におけるカルト被害者関係資料収集（東京天理教教務支庁、二〇一五年三月一三日～十四日）

「地下鉄サリン事件から二十年の集い」オウム真理教による惨劇をくり返さないために」における被害者及び関係者に関する資料収集（日本プレスセンターホール、二〇一五年三月一四日）

杉井 信 准教授

口頭発表「米軍統治下沖縄からフィリピンに渡った女性たち——彼女らのフィリピン定着についての一考察——」

二〇一四年六月二八日、第一九回フィリピン研究会全国フォーラム、広島大学国際協力研究所。

海外調査 フィリピン、バギオ市およびマニラ首都圏、二〇一四年一〇月一〇～

一九日、海外実習準備としての予備調査等。

田中 一裕 教授

著書『昆虫の時計——分子から野外まで——』（北隆館、二〇一四年一〇月）

論文「Effects of background light conditions on thermoperiodic eclosion rhythm of onion fly, *Delia antiqua*」(Entomological Science, Wiley (二〇一四年四月))

講演「家の周りを観察しよう」いきいき学園石巻校、東松島市コミュニティーセンター（十一月五日）

講演「タマネギバエの羽化リズム——土の中で朝を知るのは意外と難しい——」生物リズム若手研究者の集い、京都

大学理学部セミナーハウス（二月一四日）

学会報告「ウツキコモリグモの日周期活動」日本応用動物昆虫学会、高知大学（三月二七日）

学会報告「温度較差がキイロシヨウジヨウバエの羽化時刻に及ぼす影響」日本昆虫学会東北支部会、白神自然観
察園（七月二六日）

学会報告「ウヅキコモリグモ越冬幼生におけるグリセロールの蓄積」日本蜘蛛学会、名古屋市立大学（八月二四
日）

学会報告「地上で蛹化するキイロシヨウジヨウバエも温度較差を用いて羽化時刻を補正するか？」日本昆虫学会、
広島大学（九月一六日）

八 木 祐 子 教授

論文「モルギーさんは女神になるのかー北インド農村における『シングル』と女神信仰」『シングルのつなぐ縁』、
人文書院、六一〜七八頁、二〇一四年三月）

辞典項目「女性・女性性」（18 家族・ジェンダー、『世界民族百科事典』、丸善出版、六七〇〜六七二頁、二〇
一四年七月）

研究発表「北インド、アザムガル地域における婚姻儀礼―女性の儀礼を中心に」（バクティ研究会、東京外国語
大学本郷サテライト、二〇一五年一月十日）

研究報告「“Domestic Goddesses”に関する文献紹介」（文部科学省基盤研究（B）「生活世界の変容とジェンダー」
研究会、東京外国語大学本郷サテライト、二〇一四年七月五日）

海外調査 北インド、ウツタル・プラデーシュ州アザムガル地区、二〇一四年二月十七日〜二〇一四年三月一
日、「インド高齢女性のライフ・ヒストリー」に関する調査

「北インド、ウツタル・プラデーシュ州アザムガル地区」二〇一四年八月二十七日～二〇一四年九月二二日「北インドにおけるコミュニティの変化の諸相―ジェンダーと儀礼の関わりから―」に関する調査

吉村典子 教授

論文 吉村典子「ベイリー・スコットの住宅にみる私的住まいの成立過程」(『デザイン学研究』、デザイン学会誌、三月号六〇巻六号、二〇一四年)

翻訳 ウィリアム・モリス、ペルフォート・バックス『社会主義―その成長と帰結―』(大内秀明監修、川端康雄監訳、晶文社、二〇一四年十二月)

編集『デザイン理論』六十四号 意匠学会 二〇一四年八月
学会口頭発表 吉村典子「イギリスの『モダン・ホーム』としての『コテージ』」(意匠学会全国大会、お茶の水女子大学、二〇一四年七月)

シンポジウム
吉村典子「アーツ・アンド・クラフツ運動と民藝運動における建築」(大阪大学+科研基盤研究シンポジウム、二〇一四年十二月)

吉村典子「ウィリアム・モリスの『芸術』と『労働』」(仙台・羅須地人協会、仙台文学館、二〇一五年二月)